

2015年7月6日

調査レポート

実践女子大学 人間社会学部

実践ペルソナ研究会

実践『ペルソナ』通信 (No. 5)

「実践女子大学生における美容院事情」に関する調査結果

～美容院代は「5,000円～10,000円」が半数、通う頻度は「3ヶ月に1回」が4割以上～

実践女子大学人間社会学部実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、「女子大生の美容院事情」についてアンケート調査を実施した。有効回答者数は50サンプルでした。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計科学（担当：竹内光悦）」、「経営学（担当：篠崎香織）」、「マーケティング（担当：斎藤明）」の3つの分野のゼミ生を中心に組織され、実践女子大生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を科学する研究会です。

総括

渋谷キャンパスに所属する実践女子大生の髪に対する意識など「美容院事情」の実態について、50サンプルの実践女子大生から回答を得ました。

美容院に通う頻度について、最も多かったのは、「3ヶ月に1回」が44%と最も高い割合となった。以下、「2ヶ月に1回」(34%)、「半年に1回」(14%)、「1ヶ月に1回」(6%)、最も少なかったのが「行かない」(2%)という結果となりました。

美容院にかける1回あたりの費用は、「5,000円～10,000円」が50%と最も高く、続いて「10,000円～15,000円」が24%、「5,000円以下」が22%、「15,000円～20,000円」が2%、「20,000円以上」が0%となった。半数が1回の美容院代に「5,000円～10,000円」をかけしており、「20,000円以上」をかける学生はいないことがわかった。

調査結果のポイント

(1) 髪に対する意識が高く、美容院代は5,000円～10,000円

髪に対する意識について「とても気にする」(10%、5人)、「気にする」(78%、36人)と、髪に対する意識が高い学生が多かった(図1)。美容院にかける1回あたりの費用について「5,000円～10,000円」をかける学生が25人と半数を占め最も多いという結果となった(図3)。さらに、髪に対する意識と1回の美容院代について、「5,000円以下」(「気にする」(「とても気にする」+「気にする」)9人、「気にしない」1人、「どちらともいえない」1人、以

下、同様に)、「5,000円～10,000円」(24人、0人、1人)、「10,000円～15,000円」(10人、1人、1人)、「15,000円～20,000円」(1人、1人、0人)と両者の関係はみられなかった(図7)。

(2) 実家暮らし、一人暮らし、寮でも、美容院代は5,000円～10,000円

住居形態についてみると「実家暮らし」(72%、36人)が最も多く(図6)、そのうちの17人が美容院代に「5,000円～10,000円」をかけているという結果となった(図8)。さらに「一人暮らし」(24%、12人)では7人、「寮」(4%、2人)では1人と、住居形態別にみても「5,000円～10,000円」はいずれも最頻値となった(図8)。

(3) スタッフの指名の有無で美容院の頻度は1ヶ月の差がある。

スタッフの指名を「する」と答えた学生は40%(20人)、「しない」と答えた学生は58%(29人)であった(図5)。美容院に通う頻度との関係をみたところ、スタッフの指名を「する」(40%、20人)の学生の場合、美容院に通う頻度は、2ヶ月に1回が10人で1番多い結果となったのに対し、スタッフの指名を「しない」と答えた(58%、29人)の学生の場合、美容院に通う頻度は3ヶ月に1回が最も多い(15人)と結果となった(図9)。

調査結果について

<調査概要>

1. 調査対象：実践女子大生3年生（渋谷キャンパス在生）
2. 調査方法：質問紙によるアンケート
3. 調査期間：2015年6月17日
4. 有効回答者数：50人
5. 回答者の属性：【実践女子大学生：学年】3年生：100%

本件調査担当

実践「ペルソナ」研究会

3年 片根 瑞貴

3年 塩川 千裕

3年 塚田 美咲

3年 由井 梓

調査結果データ

(1) 髪に対する意識の実態

髪に対する意識について尋ねたところ、「気にする」(78%、39人)が最も多く、次いで「とても気にする」(10%、5人)、「どちらともいえない」(6%、3人)との結果となった(図1)。

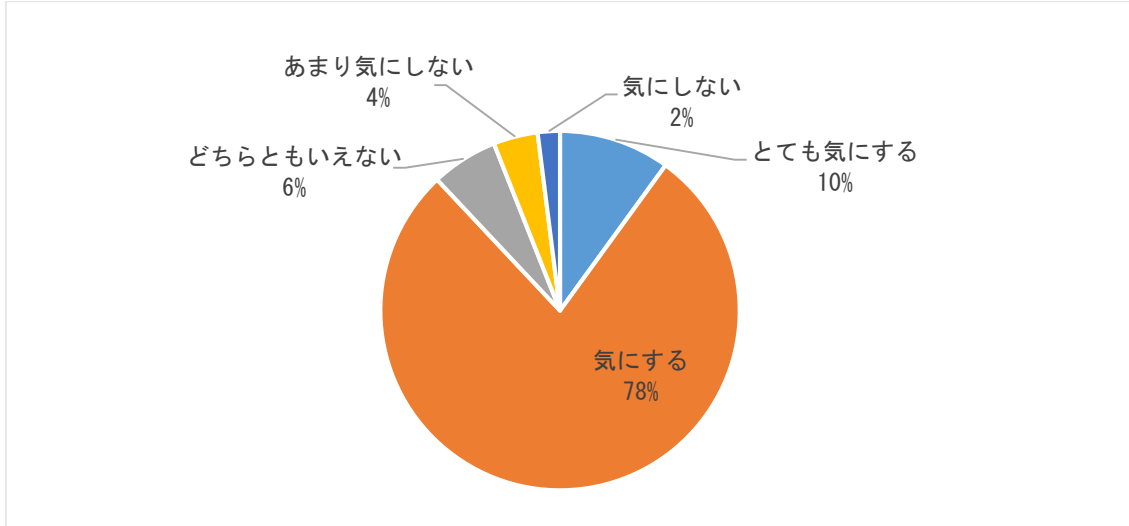


図1. 髪に対する意識 (N=50)

(2) 美容院に通う頻度の実態

美容院へ通う頻度について尋ねたところ、「3ヶ月に1回」(44%、22人)と最も多く、次いで「2ヶ月に1回」(34%、17人)、「半年に1回」(14%、7人)となる結果となった。(図2)。

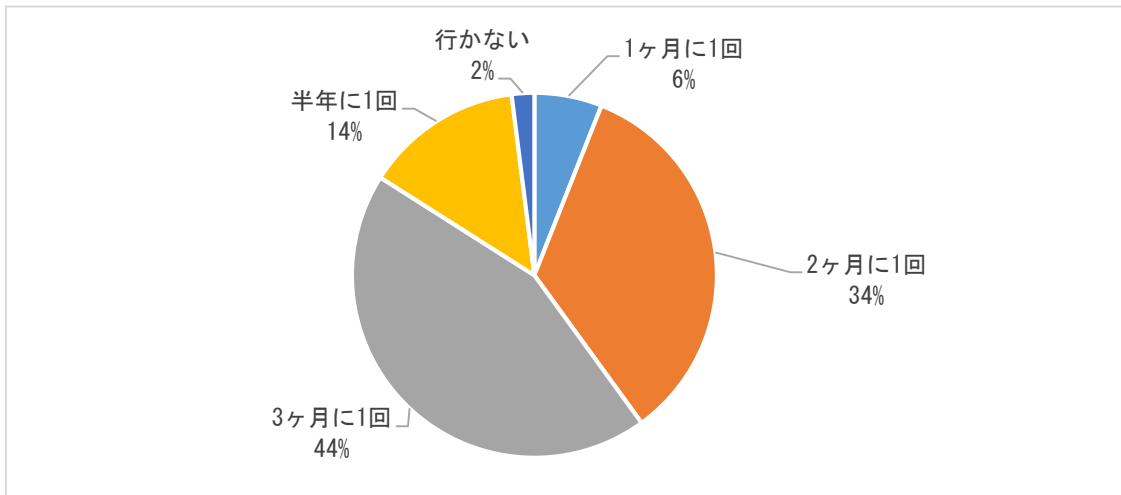


図2. 美容院に通う頻度について (N=50)

(3) 1回の美容院代の実態

1回に美容院代について尋ねたところ、「5,000円~10,000円」(50%、25人)が最も多く、次いで「10,000円~15,000円」(24%、12人)、「5,000円以下」(22%、11人)との結果と

なった（図3）。

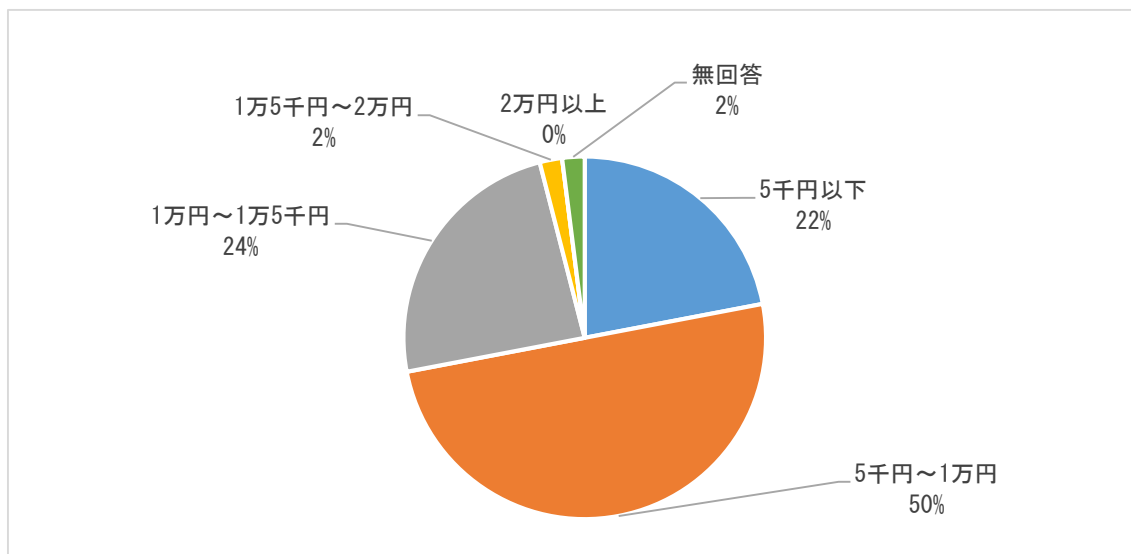


図3. 1回の美容院代について（N=50）

（4）担当者の性別に関するこだわりの実態

施術してもらう際の担当者の性別について尋ねたところ、「こだわらない」（58%、29人）がもっとも多く、次いで「女性が良い」（34%、17人）、「男性が良い」（8%、4人）との結果となった（図4）。

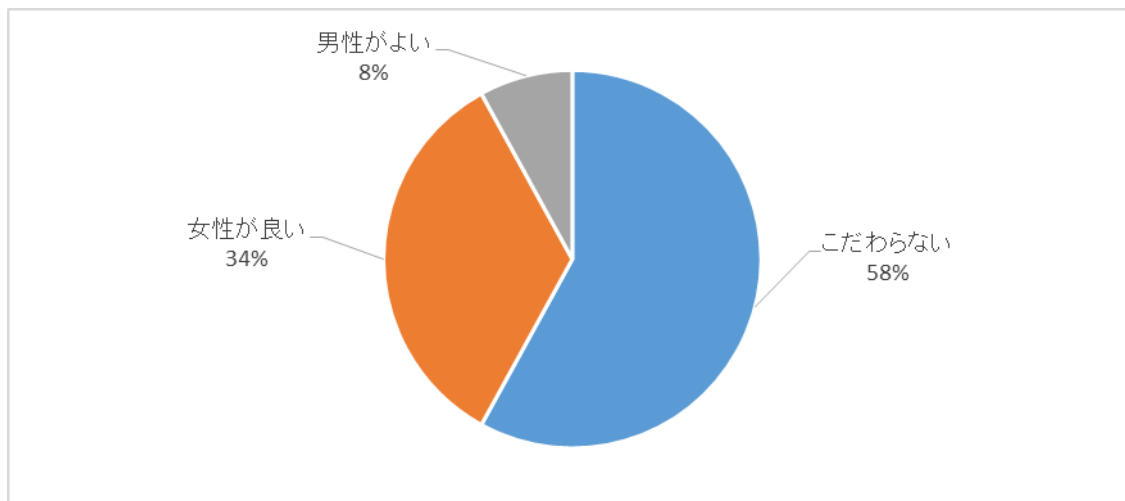


図4. 担当者の性別について（N=50）

（5）担当者の指名に関する実態

担当者の指名について尋ねたところ、「指名しない」（58%、29人）が最も多く、次いで「指名する」（41%、20人）との結果となった（図5）。

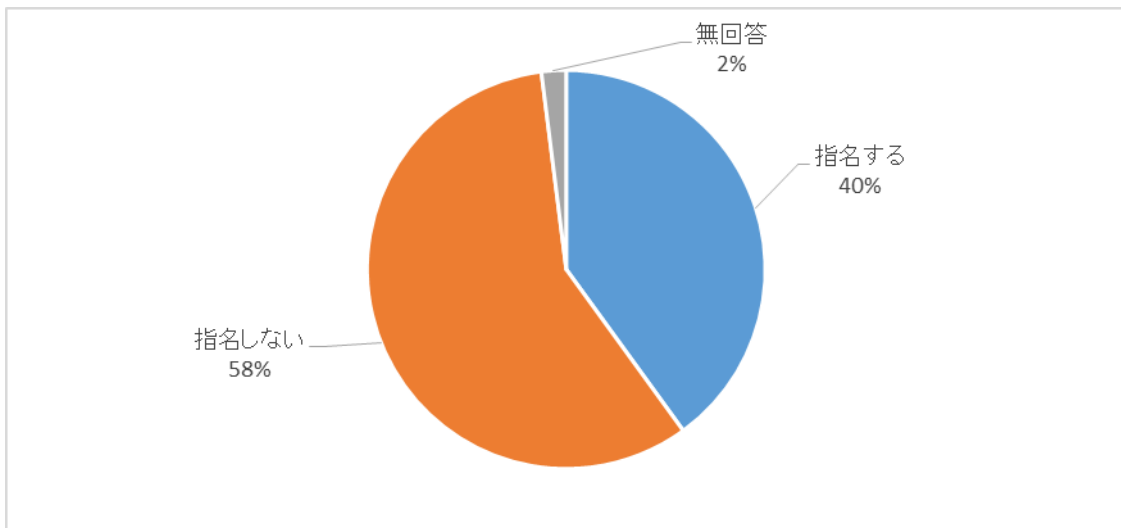


図 5. 担当者の指名について (N=50)

(6) 住居形態の実態

住居形態について尋ねたところ、「実家」(72%、36人)が最も多く、次いで「一人暮らし」(24%、12人)、「寮」(4%、2人)との結果となった(図6)。

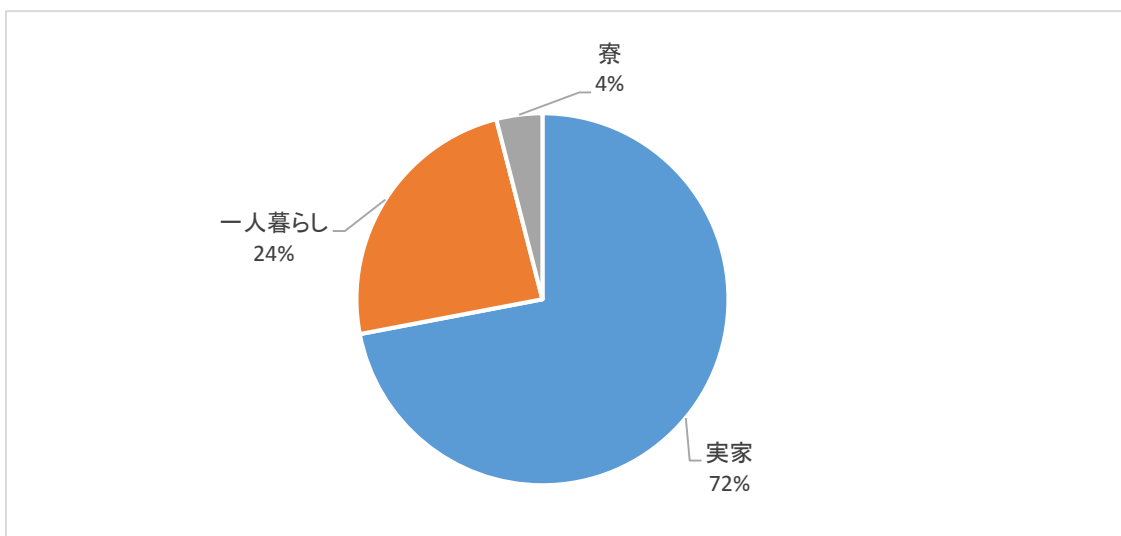


図 6. 住居形態について (N=50)

(7) 髪に対する意識と美容院代の関係

髪に対する意識と1回の美容院代について、「5,000円以下」(「気にする(「とても気にする」+「気にする」)9人、「気にしない」1人、「どちらともいえない」1人、以下、同様に)、「5,000円~10,000円」(24人、0人、1人)、「10,000円~15,000円」(10人、1人、1人)、「15,000円~20,000円」(1人、1人、0人)と両者の関係はみられなかった(図7)。

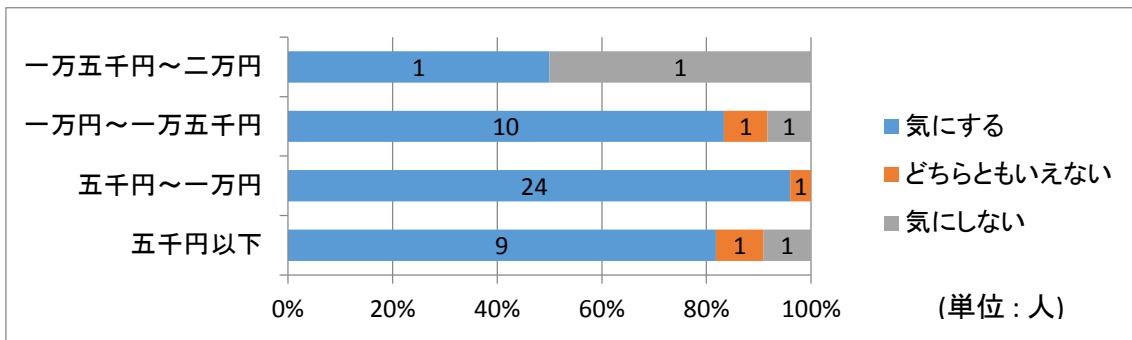


図 7. 髪の意識に対する美容院にかかる費用 (N=50)

(8) 住居形態と美容院代の関係

住居形態についてみると「実家暮らし」(72%、36人)が最も多く(図6)、そのうちの17人が美容院代に「5,000円～10,000円」をかけているという結果となった(図8)。さらに「一人暮らし」(24%、12人)では7人、「寮」(4%、2人)では1人と、住居形態別にみても「5,000円～10,000円」はいずれも最頻値となった(図8)。

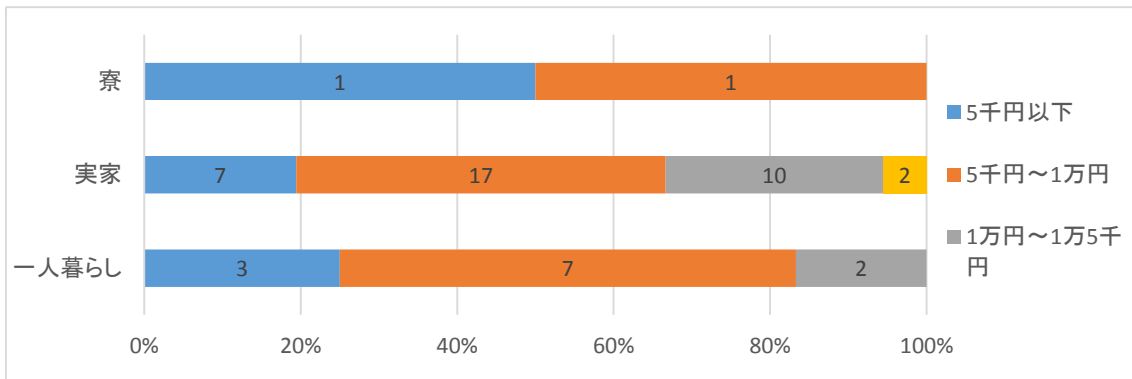


図 8. 住居形態と1回の美容院代の関係性 (N=50)

(9) 担当者の指名と美容院に通う頻度の関係

美容院に通う頻度との関係をみたところ、スタッフの指名を「する」(40%、20人)の学生の場合、美容院に通う頻度は、2ヶ月に1回が10人で一番多い結果となったのに対し、スタッフの指名を「しない」と答えた(58%、29人)の学生の場合、美容院に通う頻度は3ヶ月に1回が最も多い(15人)と結果となり、美容院に通う頻度が高いほど、担当者を指名することが多くなる結果が伺える(図9)。

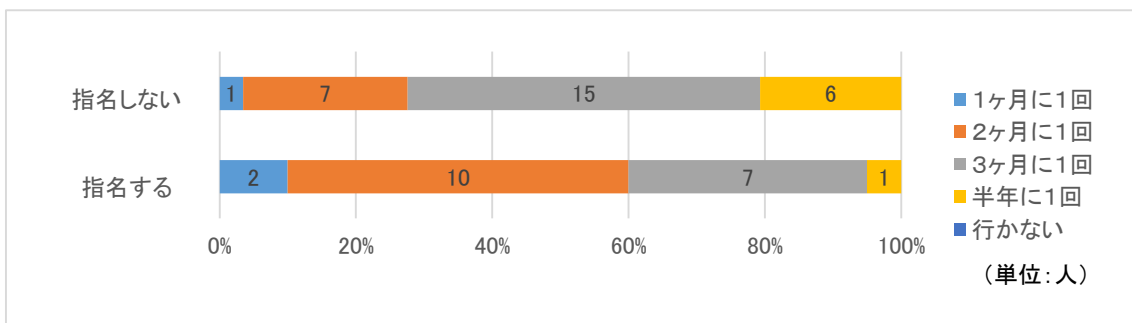


図 9. 担当者の指名と美容院に通う頻度 (N=50)